



岡田聡 議員

TPP参加に異議を！

町長 懸念があり反対

【岡田】野田総理は、TPP参加の事前協議を進めようとしているが、国内産業に与える影響をどう考えるか。

【町長】経済産業省は、TPP不参加の場合、輸出額が2割以上減少し、GDPが10兆5000億円減少すると試算している。

しかし、農林水産省は米などが壊滅的な影響を受けると想定している。医療・金融などでも影響が

懸念される。

【岡田】特に町内の基幹産業である農業と、他の分野への影響はどう予測するか。

【町長】本町では農業生産出額の約56%、50億円減少するという試算結果である。

【岡田】輸出への影響は、関税よりも円高の方が大きい。輸出が伸びることなどないと思うが。

【町長】懸念がなくならない限り反対の立場である。



議会主催のTPP勉強会

教育方針は？

教育委員会

小中学校の連携を

【岡田】新学習指導要領は、「子どもの「生きる力」を育むという理念である。知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成を重視している。

これからの教育は、ゆとりでも詰め込みでもない。変化の激しい社会を生きるた

めの「知・徳・体」をバランスよく育てることが大切である。どう対応するのか。

【教育委員会】今回の改定は、国際的な学力調査の結果で、日本の子どもは知識を問う問題の正答率が高いが、知識を活用して考える問題で課題があると指摘を受けたもの。

鳥取県の「少人数学級を生かす学びと指導の創造事業」で、名和小、名和中が小中連携の取り組みを進めていく。

「大山町教育振興会」を立ち上げ、中学校区ごとの小・中学校の縦の連携、小学校同士・中学校同士の横の連携を進めていく。



知・徳・体で生きる力を